

み ち し る べ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



7月臨時会
9月定例会

◆平成28年度決算認定
事業効果や執行状況を慎重に審査 P2

◆常任委員会
4つの委員会を開催しました P9

◆一般質問
市政のここが聞きたい P12

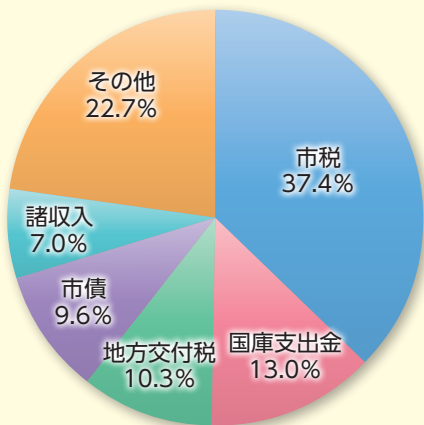
▲日本初のアジア選手権が開催された
蔵王スカイランニング（平成29年9月9・10日）



事業効果や執行状況を慎重に審査

健康医療先進都市の実現に向けて 山形市発展計画に掲げた7つの重点政策を推進

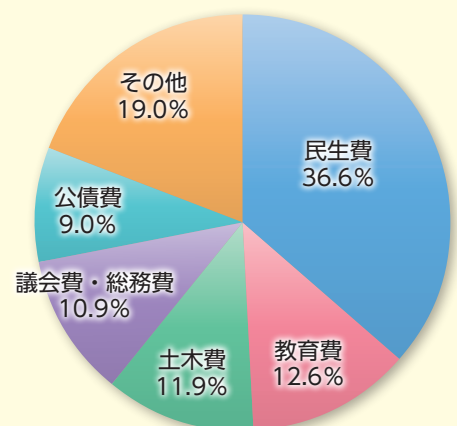
**一般会計歳入
955億2,258万円**



- ①市税 357億 10万円
(個人・法人市民税、固定資産税などの税収入)
- ②国庫支出金 123億6,827万円
(国が自治体の行う特定の事業経費の全部または一部を負担するお金)
- ③地方交付税 98億6,020万円
(市町村の財政力に応じて国から交付されるお金)
- ④市債 91億9,600万円
(長期間使われる公共施設の整備にかかる借入金)
- ⑤諸収入 67億1,202万円
(預金利子や各種貸付金の元利収入など)
- ⑥その他 216億8,599万円
(県支出金、地方譲与税・交付金、使用料および手数料など)

- ①民生費 342億7,927万円
(子育て支援、障がい者・高齢者の福祉、医療給付などの経費)
- ②教育費 117億7,324万円
(学校の建設・改修、生涯学習、スポーツの振興などの経費)
- ③土木費 111億5,437万円
(公園や道路・街路の整備、市営住宅の建設などの経費)
- ④議会費・総務費 101億7,263万円
(議会の運営、広報、地域づくりの支援などの経費)
- ⑤公債費 83億7,816万円
(市債の返還にかかる経費。うち利子分9億1,932万円を含む。)
- ⑥その他 177億6,169万円
(労働費、農林水産業費、商工費、衛生費など)

**一般会計歳出
935億1,936万円**



平成28年度の決算を認定



▲スポーツフェスタでホストタウンカフェを設置

委員（仮称）山形市動物愛護センターの設置に向けて基本構想を策定し、有識者懇談会を行ったとのことだが、市民ボランティアなど、関心が高い方の参加が少なかったのではないかと。今後、新たに市民ボランティアなどから意見を聴取するための検討会など

中核市への移行に向けて移譲事務の確認や保健所の設置など、県と調整・協議を行いました。

中核市推進事業
230万円

決算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

企画調整課長 台湾とタイ王国は観光インバウンド面での効果が非常に高いこと、サモア独立国は地元国会議員からの紹介もあり、それぞれホストタウン登録申請を行い、登録されたところである。今後、それぞれの国とのつながりがわかるようパネルを作成し、いろいろな機会をとらえてPRしていく。

委員 ホストタウンとして台湾、タイ王国、サモア独立国を選定した経緯はどうか。また、選定から決定までの経緯も含めて市民にわかりやすくPRしていくのか。

山形ブランド発信イベントの開催や、ホストタウンに登録された各国へ事前合宿の誘致活動を行いました。

東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進事業
455万円

の設置を考えているのか。
中核市推進課長 平成30年度の建設にあたり、改めて関係者から意見を聴取する予定である。市民ボランティアの参加が少ないことについては、今後、担当課と検討したい。

健全化判断比率・資金不足比率および市債残高

健全化判断比率・資金不足比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき公表される、地方公共団体の財政の健全度を判断するための指標です。実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率を早期健全化基準と比較することで財政の健全度を判断します。また、特別会計、企業会計の場合は資金不足比率を経営健全化基準と比較して判断します。いずれの指標も基準を下回っているため、本市の財政は健全と言えます。また参考として、各会計の市債（山形市の借入金）の残高も併せて表示しています。

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
山形市	なし（△3.24%）	なし（△23.10%）	8.4%	77.9%
早期健全化基準	11.25%	16.25%	25.0%	350.0%

※実質収支および連結実質収支が黒字のため、実質赤字比率および連結実質赤字比率はありません。なお、参考として、黒字の比率を（ ）に「△」で表示しています。

		資金不足比率	経営健全化基準	市債および企業債残高（平成28年度末現在）
特別会計	一般会計			963億2,498万円
	介護保険事業会計			1,377万円
	区画整理事業会計			40億6,610万円
	公設地方卸売市場事業会計	なし（△8.24%）	20.0%	4億4,417万円
	農業集落排水事業会計	なし（△5.24%）		13億158万円
水道事業会計	なし（△73.82%）	176億5,187万円		
公共下水道事業会計	なし（△26.73%）	935億9,978万円		
企業会計	市立病院済生館事業会計	なし（△36.38%）		45億8,414万円
合計				2,179億8,639万円

※いずれの会計も資金不足額は生じていないため、資金不足比率はありません。なお、参考として、資金剰余の比率を（ ）に「△」で表示しています。

24時間健康・医療相談サービス 972万円

けがや病気の不安を解消するための電話相談を24時間365日実施しました。

委員 平成28年度に1万1980件の相談件数があったとのことだが、救急出動件数は減っているのか。

消防本部総務課長 相談件数は年々増加している。28年度の救急出動件数は減少していないが、29年度は28年度同時に比べ24件減少しており、何らかの形で救急出動の減少につながっていると思われる。

自主防災組織育成事業 1099万円

自主防災組織の育成と活動を支援する報償金の支給や、資器材の購入に対する補助金を交付しました。

委員 自主防災組織の組織化率が82.3%になっているが、未組織地区はどのような理由で組織化できないのか。

防災対策課長 第一地区から第十地区のいわゆる市街地の組織化率が低い状況となっており、母体となることが多い町内会の高齢化の影響が大きいと聞いている。現在、合



▲医師や看護師などが24時間365日相談に対応

道の駅整備事業 17万円

平成27年度の調査結果に基づき、2地域を道の駅の設置箇所を選定しました。

委員 山形中央インターチェンジ付近と山形上山インターチェンジ付近の2地域を選定

したとのことだが、今後の見通しはどうか。

企画調整課長 平成29年度にそれぞれの基本構想を策定する予定で、ある程度まとまりしだい、**地域振興施設などを地元と協議**したいと考えている。また、具体的な設置場所も、それぞれ早急に決定し、関係機関や地元と協議したいと考えている。

高齢者外出支援事業 1億1836万円

山交バス株式会社が販売するシルバース3か月定期券を購入する高齢者へ、一定額を補助しました。

委員 免許証更新時の認知機能検査で運転免許取り消しとなった方も、自主返納した方と同じ補助を受けられるのか。

長寿支援課長 70歳以上の免許返納者に対するシルバース3か月定期券の定価3万円の100%補助は、状態に応じた運転免許証の返納を奨励するためであり、**それ以外の70歳74歳の方は2万1000円、75歳以上の方は2万4000円**の補助で対応することになる。



▲食生活改善推進員による夏休み食体験プログラム

健康づくり市民ボランティア活動活性化事業 202万円

運動普及推進員13人と食生活改善推進員23人の養成などを行いました。

委員 運動普及推進員や食生活改善推進員は、地域でどのような活動を行っているのか。

健康課長 運動普及推進員は各地域から要請があった場合、山形市健康づくり運動普及推進協議会から**指導者という形で派遣**されている。食生活改善推進員は市全体で事業をするときもあるが、**地区から活動の要請があれば、出向**いて活動している。

高齢者福祉施設整備事業 8399万円

小規模特別養護老人ホーム整備事業者の公募と、グループホーム2施設の整備を行いました。

委員 特別養護老人ホームの待機者数と今後の整備計画はどうか。

介護保険課長 平成28年度は744人であったが、平成29年9月で896人に増えている。今後の施設整備については、現在、**第7期介護保険事業計画策定**の中で検討している。



▲コンビニのマルチコピー機で各種証明書が取得可能

委員 有害鳥獣の捕獲頭数100頭の内訳は

有害鳥獣などによる農作物の被害防止のため、防護網の設置や駆除を実施する団体に対し助成などを行いました。

有害鳥獣等食害対策事業 1974万円

有害鳥獣など、新たな場所を探している。**民間施設**を利用するなど、**子ども福祉課長** 市で基準を設けて不適合クラブの解消を図っているが、学校の余裕教室もほとんど無く、**民間施設**を利用するなど、新たな場所を探している。

委員 寄付金額の内訳はどうか。また、市の財源はどのくらいなのか。
山形ブランド推進課長 寄付金額12億3900万円のうち、全体経費が8億9400万円で、残りの3億4500万円が市の財源となる。なお、全体経費のうち、5億7700万円が返礼品代であり、その分は市内の地場産業に還元されたことになる。

ふるさと納税を通じて、特産品などのPRと地場産業の振興を図りました。

ふるさと納税推進事業 8億9415万円

委員 平成28年度高瀬地区に大型檻を設置しているが、捕獲実績はどうか。
農政課長 雪解け後に運用を開始しているため、28年度の実績はないが、29年度に入ってからサル10頭を捕獲している。

どうか。
委員 平成28年度高瀬地区に大型檻を設置しているが、捕獲実績はどうか。
農政課長 サル72頭、イノシシ28頭であり、サル72頭のうち60頭強が大型檻による捕獲である。

住民票の写し等証明書コンビニ交付事業 7012万円

個人番号カードを利用して全国のコンビニエンスストアで住民票の写しなどの証明書が取得できるようになりました。

委員 交付事業の今後の見通しはどうか。
市民課長 窓口業務時間外や市外のコンビニでの利用が約4割を占めており、利便性の向上が図られている。交付利用登録者も約1万5000人いることから、今後につながるかと考えている。

委員 条例の基準に適合していない放課後児童クラブが平成28年度は39クラブあり、27年度よりも増えている。個別の対策は考えているのか。

留守家庭などの児童に、放課後などにおける遊びと生活の場を提供する、放課後児童クラブの運営委託を行いました。

放課後児童健全育成事業 5億5619万円

平成28年度 決算監査意見書要旨

一般・特別

一般会計の歳入において、前年度に比べ市債、寄附金などが増加し、市税、地方交付税などが減少している。個人市民税は若干増加が見込まれるものの、法人市民税は今後も大幅な増加を見込むことは難しいことから、市税収入の確保とともに受益者負担金の適正化や財産の有効活用を図るなど、一層の歳入確保に取り組まれない。一方、歳出においては、前年度に比べ総務費、民生費、商工費、教育費などが増加し、土木費、公債費などが減少している。今後も社会保障関連の扶助費や学校施設など大規模な施設整備費用の増加が見込まれるため、より効果的で効率的な行政経営を推進されたい。

済生館

未処理欠損金は、3億2,332万円となっており、収益率は、総収支比率、経常収支比率、医業収支比率のいずれも100%を下回っており、前年度に比べ低い数値となっている。財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べて増減はあるものの、全国平均と比べておおむね良好な数値となっている。市民のニーズに応えた病院機能や診療体制のさらなる充実に向け、引き続き努力されたい。今後とも「済生館3カ年計画」に掲げる諸施策の着実な実現に向けて、経営の効率化を図り、健全な病院運営に取り組まれるよう要望する。

水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べいずれも改善している。一方、耐用年数を迎える配水管や浄配水施設の更新などに係る建設改良事業の推進が引き続き見込まれることなどから、今後とも費用の節減に取り組まれるとともに、施設規模や稼働状況の効率化などを図り、一層の経営の効率化に努められたい。災害時においても安全で安定した水供給を図るため、主要3水系の水融通バックアップ体制の強化や最上川中部水道企業団との連絡管整備などに取り組まれない。今後とも「山形市上下水道事業基本計画」に掲げる施策の着実な実現に向けて、効率的な事業経営に取り組まれたい。

公共下水道

財政状態を示す経営分析に係る諸比率は、前年度に比べポイント数の増減はあるものの、大きな変動はないが、企業債に依存する割合が比較的高いことがうかがえる。未収金対策については、これまでも納付方法の多様化や利便性の向上を図っているが、受益者負担の公平性を確保するため、引き続き未収金対策に努められたい。昨今、浸水対策が求められ、併せて、管路施設などが順次耐用年数を迎えることになる。今後とも「山形市上下水道事業基本計画」に掲げる施策の着実な実現に向けて、効率的な事業経営に取り組まれたい。

森林病害虫等防除事業

568万円

森林病害虫などの駆除を行い、松くい虫被害やナラ枯れ被害の拡大防止に努めました。

委員 ナラ枯れ被害対策としてさまざまな手だてを講じているが、被害状況はどうか。

森林整備課長 平成23年度をピークに現在は減少傾向にあるが、27年度あたりから西川町や大江町などで被害が拡大していることから、影響を受けることがないよう、予防を中心に対応している。



▲被害拡大防止のためナラの木に予防剤を注入

青少年非行防止対策事業

515万円

青少年の非行防止のため、繁華街の街頭指導や電話による相談などを行いました。

委員 繁華街の街頭指導は何人体制で、どのようなエリアで実施したのか。

社会教育青少年課長 青少年指導センターの専門指導員2人と指導センター指導委員の2班体制で、平日に山形駅前や七日町周辺で行っている。さらに、子どもが多く訪れる南・北イオン方面でも、定期的に行っている。

学校給食センター運営管理業務 10億1198万円

学校給食センターの運営や衛生管理、献立の作成などを行いました。

委員 学校給食での米飯の回数はどうか。

学校給食センター所長 小学校で週3・6回、中学校で週3・7回実施している。

住宅リフォーム総合支援事業 1億1894万円

市内の施工業者を利用して住宅などをリフォームする方に、補助を行いました。

委員 申し込み状況はどうか。

建築指導課長 平成28年度の倍率は、県・市補助が1・34倍、市補助が1・82倍と需要がある。移住定住促進の事業でもあるため、拡充に努めていきたい。

ごみ不適正排出対策事業 270万円

ごみ集積所の巡回指導やボランティア清掃用ごみ袋の配布などを行いました。

委員 ボランティア袋・シールを市役所だけでなく、コミュニティセンターでも受け取れるようにしてはどうか。

ごみ減量推進課長 町内会の必要量を調査した上で、7月に各町内会長へ配送しているが、不足した場合は、要望に応じてコミュニティセンターへの配送など、柔軟な対応を検討していきたい。

猛禽類を利用した有害鳥類対策実証実験事業 43万円



▲ドローンにカラスの鳴き声を搭載して行ったカラスの追い払い実験

猛禽類を使い、飛来するカラスの集団の追い払いを行いました。

委員 今後、どのような追い払い対策を考えているのか。

環境課長 ドローンによる新たなカラスの追い払い実験なども行っているが、実証実験を繰り返さなければ、実効性が確認できないものと思われる。猛禽類による追い払いの効果も積み上げられてきており、さまざまな被害の状況に対応できる効果的な手法を、今後も検証していきたい。

都市計画マスタープラン見直し事業 1055万円

新たな将来都市像の実現に向けて、都市計画マスタープランと都市計画道路の見直しを行いました。

委員 都市計画道路の見直しに対する市民の反応はどうか。

都市政策課長 都市計画道路を廃止し建築制限をなくしてほしいなど、さまざまな意見があるが、都市計画マスタープランの地域別構想策定の説明会でも、地域の方々と十分意見を交わしながら、廃止だけでなく代替道の整備も含めて検討していきたい。



▲集中豪雨への対策工事を行った上野最終処分場

済生館管理課長 看護師2人を常駐させた**入院センター**を新設し、これまで各外来で入院予定患者に行っていた入院の説明や、支払いを含めた**入院に対する不安の相談**などをまとめて行えるようにしたこと、患者さんからも落ち着いて話ができるようになった、などの意見をもらっている。

委員 市営駐車場の稼働率を上げるため、民間駐車場を圧迫しない範囲の中で料金体系を見直してはどうか。

道路維持課長 市営駐車場は設置目的や性質、機能、立地などにも違いがあり、料金を安易に比較できないが、周辺駐車場の状況を調査しながら、**より良いサービスにつながるよう検討**していきたい。

駐車場事業

委員 最終処分場の地下水監視体制はどうなっているのか。**ごみ減量推進課長** 処分場の下の遮水シートに**漏水検知装置を設置**し、万全の対策を講じている。なお、上野最終処分場の下流域に位置する蔵王半郷地区で、**4カ所の井戸の地下水調査**を行っており、これまでも有害物質は検出されていない。

委員 済生館3カ年計画の初年度として、どのような取り組みを重点的に行ったのか。

病院事業

長寿支援課長 地区社会福祉協議会とのつながりを生かしながら、**通いの場**などの**立ち上げや除雪ボランティア**など、地域の支え合いが増えるように活動している。

上野最終処分場長期運用整備事業
5864万円

介護保険事業

施設の長期運用を図るため、近年増加した集中豪雨への対策工事を行いました。

委員 総合福祉センターに生活支援コーディネーターが14人配置されているが、その成果はどうか。

水道事業

委員 本市の水道料金は全国的にみてどうか。

上下水道部長 平成28年4月現在、1カ月13ミリ口径で20立方メートル使用した場合、**県庁所在地では7番目に高いが、県内では安い方から2番目**である。

委員 村山広域水道の料金は今後どうなるのか。

経営企画課長 平成30年度からの料金について県と協議を行っており、受水費は**約6000万円**下がり、責任水量の下限率が65%から**60%**となる予定である。

議場見学会&演奏会を開催しました



▲弦楽四重奏の音色が響く本会議場

市議会をより身近に感じていただくため、平成29年8月18日に本会議場を会場に議場見学会&演奏会を開催し、高校生20人を含め、定員を超える111人の皆さまからご参加いただきました。

議場見学会では、市議会の機能としくみの説明を行い、電子表決システムによる採決体験、スマートフォンなどでインターネット中継の視聴体験をしていただいたほか、本会議場や議長室、各委員会室などを見学していただきました。また、議場演奏会では、山形交響楽団の弦楽四重奏によるアイネ・クライネ・ナハトムジークの第1楽章など、アンコールを含めて計8曲が演奏されました。アンコールでは花笠音頭が演奏され、「やっしょまかしょ」のかけ声と手拍子で会場が一体となって盛りあがりました。

12月定例会の日程 (予定)

**11月30日(木)
～12月15日(金)**

日程は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

にぎわいがあり、いきいきと年齢を重ねられる
まちを目指す補正予算を審査

補正予算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

日本一の芋煮会大鍋製作
支援事業 882万円

ガバメントクラウドファンディングを実施し、新たな大鍋づくりを支援します。

委員 ガバメントクラウドファン

9月の主な補正予算 一般会計 12億9,996万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 道路維持補修経費 1億5,000万円
- 放課後児童クラブ運営事業 7,735万円
- 衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官
国民審査に要する経費 6,435万円
- 放課後児童支援員等処遇改善事業費補助金
..... 4,302万円
- 日本一の芋煮会大鍋製作支援事業
..... 882万円
- 産地パワーアップ事業費補助金
..... 777万円

委員 募集期間はどのよう
な考えで設定しているのか。

ンディングにより、大鍋製作を支援する負担金650万円は、どのように算定したのか。観光物産課長 大鍋製作の着手金として、大鍋本体の製作費2700万円の約半分の1370万円程度を準備する必要がある。現時点で積立金を差し引くと約650万円が不足していることから、このた

観光物産課長 芋煮会時期に

寄付を募集したほうが効果は上がるものと考えており、ふるさと納税と同様に税控除の対象となることから、ふるさと納税の寄付が集中する11・12月に合わせた期間を設定している。また、他の事例を見ると、始めから期間を長く設定しても効果は上がっており、2カ月程度の期間設定が多いことから、募集期間を2カ月間としている。

我が事・丸ごと地域づくり
推進モデル事業 328万円

地区住民が地域課題の解決に向けて取り組みを行うための活動拠点の設置や、相談体制の構築に向けたモデル事業を実施します。

委員 3地区で実施するとのことだが、委託先はどこで、具体的に何をするのか。また、今後、制度化や継続・拡充を行う考えなのか。

生活福祉課長 山形市社会福祉協議会に委託し、そこから地区社会福祉協議会に助成金を出すことになる。各地区で相談拠点を整備し、地区の住民を配置して、地域課題の相

談や地域で支え合う仕組みをつくるものである。国は、全国各地のモデル事業の成果を蓄積し、平成32年度から37年度にかけて全国展開をしていく予定であり、事業はしばらく続くと思われる。本市としても30年度以降も実施していきたいと考えている。

道路の維持補修に要する
経費 1億5000万円

生活環境のさらなる向上に向けて、市道の舗装と側溝の補修を行います。

委員 各町内会、地域住民からの道路補修などの要望はどのくらいあるのか。また、仮に要望を全て実施した場合の費用はどうか。

道路維持課長 平成28年度の各地区からの要望件数は、継続分も合わせると約600件を超えており、地区町内会と話し合い、緊急性が高いものから優先的に整備している。要望内容を全て実施した場合、約20数億円を要すると試算している。

軽自動車税システム改修
事業 300万円

軽自動車税のグリーン化特例（軽課）の延長に伴う税制改正に対応するため、軽自動車税システムを改修します。

委員 具体的にどのような改正になるのか。

市民税課長 現在、購入年度の翌年度分のみ、燃費性能の区分に応じて75%および50%、25%を軽減しているが、燃費性能を見直した上で30年度と31年度も軽減しようとするものである。



▲環境にやさしい自動車の普及を促進

※ ガバメントクラウドファンディング…地方自治体がプロジェクトの実行者になり、インターネット上で不特定多数の人から資金を募るもの。ふるさと納税と同様に所得税や住民税の控除が受けられる。

総務 厚生

産業文教 環境建設

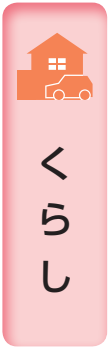
4つの委員会を開催しました



▲上山市みはらしの丘の中学生が入学予定の第九中学校

委員 本市の負担が大きくなる心配はないのか。
企画調整課長 消費生活センターと市民活動支援センターは、上山市と協定を結んで連携を開始しても、急激な相談件数の増加は見込まれないため、現在の人員と予算の体制で対応可能であると考えている。なお、消防事務委託費などのように、**実費負担が必要**な場合は負担を求めていく。

上山市との定住自立圏形成協定に消費生活相談事業の拡大と市民活動支援センターの広域活用を追加



委員 該当する生徒はどのくらいいるのか。
学校教育課長 現在把握している第九中学校への入学者数は、平成30年度1人、31年度1人、33年度2人、34年度1人、35年度2人となっているが、宅地の分譲によって変動するものと考えている。

上山市との教育事務の委託に関する規約を変更し、上山市みはらしの丘の中学生を第九中学校へ受け入れ



委員 和解案に応じない自治体もあるのか。
防災対策課長 あっせん申し立てを行っている自治体は82団体ほどであると聞いているが、**詳細は確認していない**。

委員 和解に関する手続費用とはどういったものか。
防災対策課長 職員の**人件費**や**電話料金**などである。

福島第一・第二原子力発電所の事故に係る損害賠償請求について原子力損害賠償紛争解決センターの和解案に同意

中核市移行検討 特別委員会

平成31年4月に予定している中核市移行に向けて、第1回目の特別委員会を開催しました。

委員会では、当局から中核市移行に係る現在の進行状況、事務執行の組織・要員体制、県からの移譲事務に係る本市独自の検討状況、今後想定されるスケジュールなどの報告がありました。また、保健所拠点施設と（仮称）山形市動物愛護センターの諸室などの配置予定図が示されたほか、円滑に業務を遂行するため、29年度より職員10名を県へ派

遣しており、移行後も指導的立場で県の協力を得ながら人材の育成を行う予定であるとの報告を受けました。

委員からは、動物愛護センターおよび保健所における獣医師をはじめとする要員についてや、移行に伴う財政に関すること、事務手続きの問題、産業廃棄物の指導に関することなどの発言があり、当局から、獣医師を確保するために採用募集を行っていること、保健所は新たに建設するのでなく、霞城セントラル内に配置し費用をかけないようにしているなどの説明がありました。次回は12月定例会の会期中に開催する予定です。

市民の皆さまのご理解をお願いします

議員が選挙区内の人にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。違反すると罰せられます。有権者が寄付を求めることも禁止されています。

年賀状などのあいさつ状は禁止されています！

議員は選挙区内の人に対して、自筆による答礼を除き、年賀状などの時候のあいさつ状（電報なども含む）を出すことは禁止されています。



議員への寄付の勧誘や要求はできません！

議員に対して寄付を出すように勧誘や要求をしたり、議員名義の寄付を求めることは禁止されています。

請願・陳情

9月定例会で審議された請願は、新たに提出された4件です。陳情は、新たに提出された1件を所管する委員会に配付しました。委員会での審査結果は以下の通りです。

(※印は意見陳述が行われたものです。)

	件名		紹介議員	所管委員会	結果
	提出者				
請願	第8号 新規	保育士等キャリアアップ研修の円滑な実施を求めることについて 山形市民間立認可保育所連絡協議会 会長 海和宏子	菊地健太郎 斎藤淳一 武田新世 川口充誠 今野誠一	厚生	採択
	第9号 新規※	(仮称)山形市動物愛護センターに関することについて 村山動物愛護推進有志の会 代表 沖津由美 ほか2人	浅野史一 今野誠一 折原政仁 小野	厚生	継続審査
	第10号 新規※	猫の去勢・不妊手術助成金制度の創設に関することについて 村山動物愛護推進有志の会 代表 沖津由美 ほか2人	今野誠一 折原政仁 小野	厚生	継続審査
	第11号 新規※	動物愛護推進員制度の導入・委嘱に関することについて 村山動物愛護推進有志の会 代表 沖津由美 ほか2人	浅野史一 今野誠一 折原政仁 小野	厚生	採択
陳情	第2号 新規	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関することについて 全国森林環境税創設促進議員連盟 会長 板垣一徳		総務	配付のみ

- ◆請願第8号については、国の関係機関に意見書を送付しました。
- ◆請願第9・10号については、継続審査となりました。
- ◆請願第11号については、提出された文書の写しを市長に送付しました。今後、請願への対応の経過と結果について、議会に報告される予定です。

意見書(要旨)

9月定例会で可決された意見書は1件です。関係機関に送付しました。

保育士等キャリアアップ研修の円滑な実施を求める意見書

今般、告示が行われた保育所保育指針(平成29年厚生労働省告示第117号)では「保

育所においては、当該保育所における保育の課題や各職員のカリヤアパス等も見据えて、初任者から管理職員までの職位や職務内容等を踏まえた体系的な研修計画を作成しなければならぬ」ことが盛り込まれ、平成29年4月1日付で「保育士等キャリアアップ研修の実施について(雇児保発0401第1号)」の通知が発出された。

また、子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育等

に要する費用の額加算において、平成29年度より、技能・経験を積んだ職員に対する処遇改善のための加算が創設されたが、この加算と連動する上記研修の対象者が、現在速やかに研修に参加できる環境にあるとは言いがたい状況にある。

保育士が、経験に応じキャリアアップの研修を受け、研鑽を積み上げていくことは、日々の保育にも反映され保育の充実にもつながる良い機会

千歳小学校校舎改築などの工事請負契約の締結に同意 《7月臨時会》

7月臨時会を7月20日に開催しました。7月臨時会では、工事請負契約の締結(山形市立千歳小学校校舎改築及び放課後児童クラブ新設建築工事・電気設備工事・機械設備工事)についての議案3件が上程され、産業文教委員会に付託し審査を行いました。

審査終了後に本会議を再開し、委員長報告を受けた後、採決した結果、いずれも全員異議なく同意しました。



▲新千歳小学校完成予想図

であり、それだけに対象となる職員が円滑にかつ確実に研修が受講できる体制の整備が急務といえる。

よって、国においては、対象となる保育士が受講しやすい研修制度になるよう柔軟な実施形態がとれるようにし、さらには実施主体である都道府県にその趣旨を周知するよう、次の事項を強く要望する。

1 対象となる保育士が受講しやすい研修制度になるよ

う各都道府県が開催する保育士等キャリアアップ研修会の日時設定並びに、会場選定においては、受講者の利便性に十分配慮するとともに、各都道府県単位だけではなく、各都道府県単位だけではなく市(保育団体への委託も含む)単位でも実施できるようにし、また、eラーニング等のインターネットを活用した受講システムの導入も積極的に進めること。

議決議案一覧（7月臨時会）

議案番号	件名	議決結果
議第53号	工事請負契約の締結について（山形市立千歳小学校校舎改築及び放課後児童クラブ新設建築工事）	同意 (全会一致)
議第54号	工事請負契約の締結について（山形市立千歳小学校校舎改築及び放課後児童クラブ新設電気設備工事）	同意 (全会一致)
議第55号	工事請負契約の締結について（山形市立千歳小学校校舎改築及び放課後児童クラブ新設機械設備工事）	同意 (全会一致)

議決議案一覧（9月定例会）

議案番号	件名	議決結果
議第56号	平成28年度山形市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	認定 (全会一致)
議第57号 議第58号	平成28年度山形市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について 平成28年度山形市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	可決および 認定 (全会一致)
議第59号	平成28年度山形市立病院済生館事業会計決算認定について	認定 (全会一致)
議第60号	平成29年度山形市一般会計補正予算 産地パワーアップ事業費補助金、放課後児童クラブ運営事業、国際親善交流事業、日本一の芋煮会大鍋製作支援事業、我が事・丸ごと地域づくり推進モデル事業などに係る補正予算です。	可決 (全会一致)
議第61号	土地の処分について（山形中央インター産業団地分譲用地）	同意 (全会一致)
議第62号	上山市と締結した山形定住自立圏の形成に関する協定の一部変更について 上山市と締結した山形定住自立圏の形成に関する協定に基づき、同市と連携して取り組む内容を追加するものです。	同意 (全会一致)
議第63号	山形市と上山市との間の学齢生徒に係る教育事務の委託に関する協議について 上山市みはらしの丘に居住する学齢生徒に係る教育事務の委託に関して、上山市と協議をしようとするものです。	可決 (全会一致)
議第64号	友好交流の促進について 台南市との友好交流の促進に関する協定を締結し、両市の発展を促進しようとするものです。	可決 (全会一致)
議第65号	和解について 原子力損害賠償紛争解決センターにあっせんの申し立てを行った東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所および福島第二原子力発電所の事故に係る損害賠償請求について和解するものです。	同意 (全会一致)
議第66号	平成29年度山形市一般会計補正予算 衆議院議員総選挙、最高裁判所裁判官国民審査に係る補正予算です。	可決 (全会一致)

議案番号	件名	議決結果
議案第9号	保育士等キャリアアップ研修の円滑な実施を求める意見書の提出について 内容は10ページの「意見書（要旨）」をご覧ください。	可決 (全会一致)

山形市

第4回山形ビッグウイングフェスティバル

と き 平成29年11月18日(土)～19日(日)
午前10時～午後4時
ところ 山形国際交流プラザ（山形ビッグウイング）1階展示場
内容 「食」をテーマとした「村山広域7市7町うまいものフェア」を開催いたします。また、「山形市伝統的工芸品まつり」と「みちのくこけしまつり」が併催されます。
問い合わせ先 山形ビッグウイング
☎635-3100

上山市

上山城元旦登城

と き 平成30年1月1日(月・祝)
午前7時～午後4時
ところ 上山城
内容 新年の幕開けに、上山城の天守閣で三吉山からの初日の出を拝み、三つの吉のパワーをもらいましょう。先着300名の方にプレゼント進呈。
問い合わせ先 (公財)上山城郷土資料館
☎673-3660

山辺町

山辺町初市

と き 平成30年1月12日(金)
午前9時30分～午後5時
ところ 駅前、本町、仲町通り
内容 縁起物の初飴、だんご木をはじめ、海産物、白や杵などを売る店が軒を連ね、江戸時代から続く伝統的な催しです。
問い合わせ先 山辺町商工会
☎664-5939

みみより情報

市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。9月定例会では、9月12日と13日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



親子で一緒に楽しめる
「えほん図書館」の設置を！

折原 政信 議員

Q 市南部の屋内型児童遊戯施設に、札幌市のようなえほん図書館を併設してはどうか。
A えほん図書館も参考にし

Q ながら、親子で絵本を楽しむ空間づくりを念頭に図書館コーナーの充実を検討していく。
A 仙山線の高速化や安定化、

東部幹線道路の整備について、新仙台市長とどのように連携していくのか。
A 今後も仙台市をはじめとした関係機関と協議し、仙山線の機能強化や利用率の向上に向けて調査研究していく。
Q SDGsをどのように考え、取り組んでいくのか。
A SDGsの掲げる17のグ

ローバル目標は、本市の発展計画と方向性が概ね一致しており、「健康・長寿命の達成」など、幅広く施策に反映していくよう努めていく。
Q 町内会のゴミ集積所への助成は、予算の上限に達した場合でも、流用などの方法で対応すべきだと思うがどうか。
A さまざまな事情により全

Q 子育て環境の充実を図るため、ロタウイルスワクチン予防接種費用の半額を助成しはどうか。
A 任意接種の助成は、さま

質問者

質問の要旨

- 折原 政信** (公明党山形市議員) 人口減少時代における人口形成と業務等の改善、小さい子どもからお年寄りまで住み良いまちづくり、スポーツ振興 ほか
- 阿曾 隆** (日本共産党山形市議員) 核兵器禁止条約への態度、生活保護行政の改善、高すぎる国民健康保険税、無料低額診療 ほか
- 加藤 孝** (市民連合山形市議員) 旧双葉小学校の跡地利用、教育問題、公契約条例制定に向けた取り組み、介護を取り巻く環境の改善 ほか
- 菊地健太郎** (翔 政 会) スマートインターチェンジの整備、サッカースタジアム建設、小規模企業振興基本法に基づく施策、街なか居住推進 ほか
- 石澤 秀夫** (市民連合山形市議員) サッカースタジアムを山形市に、中核市移行に伴う街づくりの新たな構想、スポーツ振興と施設の整備、聖苑の建設 ほか
- 浜江 朋博** (緑 政 会) 仙山交通網整備、モンテディオ山形新スタジアム建設、日本一の芋煮会フェスティバル大鍋プロジェクト ほか
- 伊藤 香織** (翔 政 会) 市斎場待合室のバリアフリー化、危機管理、酒田地区広域行政組合の例から山形市における同様の条例制定、市民のカルテ ほか
- 中野 信吾** (翔 政 会) 地方卸売市場の指定管理、山形市高齢者外出支援事業、山形市都市計画マスタープラン等、農業戦略本部での議論 ほか

●一般質問は内容を要約して掲載しています。また、議会ウェブサイトでも録画映像がご覧いただけます。

※ SDGs…持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) の略称。地球環境と人々の暮らしを持続的なものとするため、すべての国連加盟国が2030年までに取り組む17分野の目標。



▲西部・南部の公共交通の充実を



阿曾 隆 議員

重すぎる国民健康保険税 (国保税)の負担軽減を図れ



▲地域に愛される動物愛護センターを目指せ

Q 国民健康保険加入者の負担能力を超える税額となっているという認識はあるのか。

A 国民健康保険の加入者は、低所得の方や高齢者が多く、医療費水準が高いという構造的な問題から、国保税の負担は決して少なくないと認識している。

Q 法定外繰り入れなどで負担の軽減措置を積極的に行い、高すぎる国保税額を引き下げていくべきではないか。

A 県単位化による国保税率の改定や、一般会計からの繰り入れの可否を現時点では判

さまざまな状況を踏まえ、慎重に検討していく。

Q 高齢者向け肺炎球団ワクチン予防接種の周知方法として個別通知を行っているかどうか。

A 個別通知をすることで接種率が上がる状況もあることから、個別通知を進めていく。

Q 県体育館の代替施設とし

Q 多子世帯への国保税の負担軽減のため、2人目以降の子どもの均等割をゼロにしているかどうか。

A 国と地方の協議や全国市長会の提言に盛り込まれているため、要望していきたい。

Q 平和都市宣言を掲げている市として、国連の核兵器禁止条約に参加するよう政府に求めていく考えはあるのか。

A 国の動向を踏まえ、日本非核宣言自治体協議会や平和首長会議などの加盟団体と連携して取り組んでいく。

Q 生活保護のしおりとホー

て、県立中央病院跡地などを利用し、県・市・民間が共同運営するセクター方式の体育館を建設してはどうか。

A 県総合体育館は、立地条件などから、代替施設となることは困難と考えている。県と情報交換を進め、整備の方向性を協議していきたい。

Q 動物愛護に関する条例の

Q 福祉推進部に、福祉の専門家である社会福祉士などを増やしていくべきではないか。

A 社会人経験者採用試験などで、各分野の資格などを有する有能な人材の採用に努めるとともに、採用枠の見直しも検討していく。

Q 高齢者の生活と移動が脅かされている公共交通の現状をどう認識しているのか。

A 今後も各地域における住民ニーズや利用実態などを踏まえ、運行事業者と連携しな

制定スケジュールはどうか。また、野良猫の殺処分数を減らすための不妊・去勢手術などに対する助成はどのように考えているのか。

A 有識者の意見も踏まえながら、平成30年度中の条例制定を目指している。また、野良猫の不妊・去勢手術への助成は、殺処分ゼロに向けた施策の一環として検討していく。

Q 西部・南部地域の公共交通の充実を図るため、市の直営も含めたデマンド型や、乗り合い型のバス事業などを導入するなど、地域公共交通網形成計画を見直してはどうか。

A 地域住民の声を聞きながら、コミュニティバスの運行などで市民の足の確保に取り組むとともに、パーソナルリップ調査の結果などを参考に事業改善に努め、公共交通の充実に向けて取り組んでいく。

Q 夜間中学の開設に向けて、潜在的ニーズ調査や機運を高める取り組みをしてはどうか。

A 就学希望者や支援内容などの実態把握に努めていく。

Q 動物愛護推進員制度の導入や、NPO法人・ボランティアなどの資格要件や助成などをどのように考えているのか。

A 動物愛護推進員は、配置に向けて人数や選出方法などを検討していく。動物愛護に関するボランティアなどの資格要件や助成は、他市の状況を踏まえて検討していく。

早急に元双葉小学校の 利活用方針を示せ

加藤 孝 議員



▲元双葉小学校を新たな地域おこしの拠点施設に

ための施設として、元双葉小学校を活用してはどうか。
A 事業者より具体的な提案があった場合には、地区とも相談しながら検討していく。

働条件の改善を図っているが、今後も国や県の動向を的確に捉え、さらなる労働条件の改善に努めていく。

うにしているかどうか。
A このたびの規制緩和の目的は、インフラが整備された空き家や空き地を有効活用すること、農家分家住宅を含む誰もが建築できるような多様なニーズに応えたものである。新たなインフラ整備を伴う農用地区域は、規制緩和区域から除外している。

Q 元双葉小学校が閉校になって5年半になる。元双葉小学校の具体的な利活用を図るために、一般、民間企業からの提案を広く募集し、審査を経た上で決定してはどうか。

Q 村木沢小学校・大曾根小学校の今後のあり方について、地区民と話し合う場を持つべきだと思うがどうか。

Q 第6期介護保険事業計画の、より一層の充実を図るために協議会を設置して、介護支援専門員の資質の向上や介護職員の人材確保と育成に取り組んではどうか。

Q 西公園の充実や西部工業団地の機能性を高めるためにも、山形パーキングエリアに隣接した場所にスマートインターを設置してはどうか。

A ドローンスクールなどの試行的利用を行うとともに、公共施設再生ナビにも登録し、広く提案内容を具体化できる事業者を募っている。また、関心のある企業を集めた内覧会を開催していく。

A 平成27・28年度は、西部地区で各関係者と話し合いを重ねてきた。今後も、地区の方々の考えを尊重しながら、話し合いの場を設けることを検討していく。

A 県が進めている高齢者や主婦などの多様な人材の参入促進や職場定着のためのさまざまな施策と連携し、具体的などのような取り組みが必要なのか、事業者の意向を聞きながら、協議会の設置も含めて対応を検討していく。

A 既存のスマートインターとの間隔、広域的都市間アクセス性、経済性の観点などから、山形パーキングエリアと山形ジャンクション周辺の2カ所が設置候補場所として望ましいと考えている。

Q 今後増えると思われる外国人介護士の養成に合わせ、安価な宿舎の提供と研修する

Q 労働者の人材不足や働く職場環境の改善を目指すため、改めて公契約条例の制定を検討してはどうか。

Q 農家分家住宅をこれまでと同様に、農振地域内に農振除外での建築が可能となるよう

Q モンテディオ山形の新社屋タジウム建設は、県内の自治体によるプロポーザル方式が検討されている。本市の参加への意思はどうか。

Q 今後増えると思われる外国人介護士の養成に合わせ、安価な宿舎の提供と研修する

A 公共工事の品質確保の促進に関する法律を遵守し、労働

Q 形上山インターチェンジ間の開通に合わせ、スマートインターチェンジを設置してはどうか。

A 参加条件が明らかではないが、できる限り積極的に手を挙げていく。

積極的な中心市街地 活性化策を図れ！

菊地健太郎 議員



組んでいくのか。

A 将来の中心市街地のエリアマネジメント体制は、事業を包括的に取り組む新たなまちづくり会社の設立も含めて

Q 設置主体や活用できる補助金制度を含めて、警察や商店街などの関係者と連携しながら検討していく。

A 山形パーキングエリアと山形ジャンクション周辺の2カ所がスマートインターチェンジの設置候補場所として望ましいと考えている。今後、条件が整い次第、整備を進めていきたい。

Q 多くの自治体に移住定住施策に取り組む中、さらなる

Q 山形市中心市街地活性化戦略推進事業で将来的なビジョンを策定した後、どのような体制を組織し施策に取り

Q 東北中央自動車道の南陽高畠インターチェンジから山

Q 多くの自治体に移住定住

Q 多くの自治体に移住定住

Q 多くの自治体に移住定住

※ 公共施設再生ナビ…地方公共団体の保有物件を民間事業者が活用し、地域振興を支援することを目的としたシステム。



▲子ども連れでにぎわう西公園をさらに快適に



石澤 秀夫 議員

スポーツを核とした まちづくりを図れ



▲山形牛のブランドを世界に

- Q サッカー文化を根付かせるため、市長にモンテディオ山形新スタジアム誘致の先頭に立ってほしいがどうか。
- A プロポーザル方式の参加条件がまだ明らかではないが、できる限り積極的に手を挙げていく。
- Q 国体などの大会が開催できるよう、県あかねヶ丘陸上競技場を第1種または第2種公認陸上競技場に整備すべきではないか。
- A スポーツの推進にかかる新たな計画策定の中で、位置付けの検討を進めていく。

- Q パークゴルフ場、グラウンドゴルフ場の管理運営などは、地元や利用団体の全面的な協力を求めつつも、市としての具体的な整備の方策を示すべきではないか。
- A 誰もが楽しみ健康な体づくりが行えるよう、市民ニーズを踏まえて身近なスポーツ施設の整備を進めていく。
- Q 斎場は築33年で、施設や持合室も狭い。新たに建設するには時間を要することが想定されるため、早めに準備作業に入るべきではないか。
- A 他市では検討から供用開始まで約10年を要している。時期を逃さないよう引き続き調査研究を続けていく。
- Q 市街化調整区域での開発許可の規制緩和により、2万

- 人の人口増加につながると聞
くが、市長の所見はどうか。
- A 新たな住宅などの建設を行う余地が約2万人分増えたということであり、どのくらい
の人口増になるか分からない
が、既に700件の問い合わせ
がある。この動きを活かし
各地域の方々とともに最大
限の努力をしていく。
- Q 西公園は子ども連れでに
ぎわっている。水遊び後の更
衣所や日陰の休憩場所を多く
確保してはどうか。
- A パーゴラなどの休憩施設
の増設を検討していく。
- Q 新産業団地実現までには
相当の時間を要する。その間、
本市に進出を希望する企業の
受け皿として、西部工業団地
の空き地の有効利用や団地周

- 辺の拡張を行ってはどうか。
- A 空き区画情報を提供して
いるが、拡張は農振法などの
関係で難しい。今後は、7月
施行の地域未来投資促進法に
よる国の動向を注視していく。
- Q やまがた緑環境税運用事
業で、高瀬地区の里山林に人
と野生動物との緩衝地帯を整
備しているが、他の地区でも
行ってはどうか。
- A 野生動物被害の軽減に対
し一定の効果が発揮されてい
ることから、地域の協力が得
られる所から進めていく。
- Q 思考力や集中力などを養
成できる囲碁や将棋を、教育
に取り入れてはどうか。
- A 今後も、囲碁や将棋に触
れる機会を大切にし、自主的
な取り組みへつなげていく。

- 移住施策を考えているのか。
- A 平成29年度より、住宅リ
フォーム総合支援事業では、
移住世帯を優先的に補助して
いる。30年度においても、さ
らなる拡充を検討していく。
- Q 市内の空き家を、民泊や
外国人留学生宿舎として活用
してはどうか。
- A 関係機関と情報共有を図

- るとともに、空き家の所有者
の意向を把握することも含め
て、調査検討していく。
- Q 本市を訪れる外国人観光
客の6割以上は台湾や香港な
どの繁体字を使用している国
からである。新たな繁体字の
観光マップを作成してはどうか。
- A 山形全体の魅力を十分発

- 信できる内容に変更し、併せ
て最新の情報を提供できるよ
う工夫しながら対応していく。
- Q 県民会館の跡地利用の検
討に際しては、近隣地域の意
見を聞く機会を設けるのか。
- A 必要に応じて関係地区の
意見を聞くとともに、山形市
中心市街地活性化戦略本部で
も検討していく。

- Q 台湾での日本産牛肉の輸
入解禁が見込まれるため、山
形牛の売り込みを図ってはど
うか。
- A おもてなし山形株式会社
が設立準備中の事業者組合を
中心に、流通経路や販路拡大
を目指すとともに、パッケー
ジ化戦略も研究し、山形の食
文化を売り込んでいく。

※1 繁体字…現在、中国で使用している簡体字に対して、簡略化する以前の画数の多い漢字。
 ※2 パーゴラ…庭やテラスの上に木の枠を組み、ツタやバラなどのつる性の植物を絡ませて日よけとするもの。藤棚、葡萄棚もこの一種。
 ※3 農振法…農業振興地域の整備に関する法律。



二代目鍋太郎を 新たな道の駅のシンボルに

渋江 朋博 議員



▲多くの人に親しまれた二代目鍋太郎

Q 役目を終える二代目鍋太郎を、現在検討中の道の駅へ移設し、活用してはどうか。

A 山形商工会議所青年部が主体となり活用方法を検討している。観光施設への展示や鍋本体を解体し活用するなど案があり、本市としても引き続きサポートしていく。

Q 市長公約の「山形く仙台間30分に挑戦」を実現するためには、フル規格新幹線の整備しかないと思うがどうか。

A 新幹線構想は仙山線高速化に関する整備案の一つである。今後、設置予定の仙山線



市民の生命と暮らしを守り 「豊かな成長」の実現を！

伊藤 香織 議員

Q 毎年実施している総合防災訓練に加え、自衛隊、警察などの関係機関と指揮所訓練を実施すべきと考えるがどうか。

A 平成29年度から段階的に関係機関に参加を依頼し、連携強化に向けた訓練を実施していく。

の機能強化に関する勉強会の中で、他の整備方針案と同様に関係機関との協議を踏まえながら検討していく。

Q モンテディオ山形の新スタジアム建設場所は、県内市町村を対象にしたプロポーザル方式で決めることが検討されている。スタジアム建設に向けた市長の決意を聞きたい。

A 参加条件がまだ明らかではないが、できる限り積極的に手を挙げていく。

Q アメリカを中心に絶大な人気があるエックスゲームズを蔵王に誘致してはどうか。

A 現在、民間主体で競技大会誘致に向けた活動を行っている。本市としても関係者や蔵王温泉などと協議していく。

Q 南山形地区では災害を想定した防災訓練を毎年実施している。他の地区でも同様の防災訓練を実施してはどうか。

A 今後も山形市自主防災組織連絡協議会と協力しながら、各地区の活動事例を紹介するなど、地区全体での防災訓練の実施を推進していく。

Q 平成29年8月29日にミサ

Q 町内会が保有する、P₂C₂Bを含む安定器の処分費用に助成し、一時保管場所として市有施設を活用してはどうか。

A 先進事例を参考に廃棄に対する補助を検討していく。また、処分費用の95%が助成対象となるPCB廃棄物処理基金助成金を活用しつつ、安全な保管ができるよう、施設面や法的な面で検討していく。

Q 中学校への冷暖房の整備と小学校のトイレ改修は、計画通り平成31年度までに完了するのか。また、完了後の取り組み方針はどうか。

A 国の交付金制度を活用し、31年度までに整備を完了するよう進めていく。整備完了後は、小学校への冷暖房設備の整備と中学校のトイレ改修を進めていく予定である。

Q 南山形地区では災害を想定した防災訓練を毎年実施している。他の地区でも同様の防災訓練を実施してはどうか。

A 今後も山形市自主防災組織連絡協議会と協力しながら、各地区の活動事例を紹介するなど、地区全体での防災訓練の実施を推進していく。

Q 平成29年8月29日にミサ

Q 小学5・6年生の英語教科化が32年度から全面实施されるが、教員の英語指導スキルの現状はどうか。また、ALTや専科教員の増員をどの程度必要と考えているのか。

A 各小学校ではコミュニケーション活動を取り入れた外国語の授業を数多く実践し、指導力の高まりが認められるようになってきた。現在、効果的な指導に向けたALT配置の検討を行っており、専科教員については、今後も県に増員を要望していく。

Q 小白川街道の国道13号線の下をくぐる箇所の歩行者の安全対策状況はどうか。

A グリーンベルトの再塗装や照明灯のLEDへの交換、壁面の白色系塗装などを29年度に実施していく。

Q 世帯に配布し、30年度は浸水想定区域内の世帯への配布を予定している。今後、配布結果を検証するとともに、ニーズ調査などを行い、事業の拡充を検討していく。

Q 斎場の待合室のバリアフリー化を検討し、改修する必要があると思うがどうか。

A 新たな斎場の建設のため、

*1 エックスゲームズ…スキー、スノーボーディング、BMXなどのエクストリームスポーツの技術や速さを競う大会。夏と冬の年2回開催しており、アメリカを中心に全世界でテレビ放送されている。
*2 PCB…ポリ塩化ビフェニルの略称。電気機器の絶縁油などとして利用されていたが、人体へ有害であることから現在製造中止となっている。
*3 指揮所訓練…自衛隊で行われる演習・訓練。県や関係機関などが参加し、地図などを使用して災害時のシミュレーション訓練などを行う。



▲卸売市場の活性化を図る整備検討を



中野 信吾 議員

道の駅機能を兼ね備えた卸売市場の整備検討を



▲南山形地区で行われた防災訓練の様子

Q 卸売市場の建て替えを検討する際は、場外市場や道の駅の機能を兼ね備えた整備を検討してはどうか。

A 将来的なあり方を、今後の課題として調査研究していく。

Q 卸売市場の指定管理者制度導入と施設改善整備の進行状況はどうか。

A 指定管理者制度導入検討会の場内事業者窓口の方との協議の進行状況をみながら議論を進めていく。また、施設改善整備検討会に改善案を提示し、改善に向けた協議も進

用地の考え方や整備手法などを研究中であり、バリアフリー化についても、どの程度可能であるか、調査していく。

Q パワーハラスメントに対する懲戒免職処分を可能とする内部基準の策定や、客観的で公正な調査が必要と判断した場合に第三者委員会の設置ができるよう、新たな条例を

Q 新産業団地候補地の一つに立谷川工業団地付近がある。この南側十字地区を、仙山交流の拠点として宅地開発すべきと考えるがどうか。

A 既存集落内の土地利用の規制緩和、道路事業などの進行をみながら、今後の対応を検討していく。

Q 仙山交流による人口増施策を推進するため、早急に楯山停車場立谷川線および楯山駅北口を整備し、周辺開発の拠点駅にしてはどうか。

A 楯山停車場立谷川線は、平成30年度から用地補償に着手し、早期完成に努めていく。楯山駅北口の整備は、JR東日本との協議が必要で、経費は基本的に自治体負担となる

制定してはどうか。

A 非遵行を行った職員への懲戒処分は、これまで国の基準などを参考に行ってきたが、現在、新たに本市独自の懲戒処分の基準を策定中である。また、第三者委員会の設置は、新たに定める本市独自の懲戒処分の基準の運用後の状況をみながら対応していきたい。

Q 道の駅整備の基本構想の策定に向けた協議の進行状況はどうか。

A 現在、基本構想を策定するため、庁内や河川国道事務所と協議を進めている。今後、どのような地域振興機能を持たせるか先行事例も研究しながら、後発の利も生かせるよう取り組んでいく。

Q 高齢者外出支援事業は、バスの定期券購入補助だけでなく、タクシー券やJR回数券の選択制にしてはどうか。

A 全国的に高齢者の移動手段の確保が課題となっている。地域住民による福祉有償運送や、介護保険の総合事業を活用した移動支援などの取り組みを研究し、高齢者の移動手段確保に向けて検討していく。

Q 移住者と農業人口を増やすため、新規就農事業と合わせて戦略農産物の団地化へ積極的に支援してはどうか。

A 本市では、団地化の取り組みへ積極的に支援しており、山形市新規就農者受入協議会を29年度に立ち上げ、新規就

ため、今後の利用見込みなどを踏まえて検討していく。

Q ふるさと納税で「学校給食の充実」を大きく掲げ、給食内容の充実や、第2子以降の給食費を減免してはどうか。

A 現在の使途の「子育て・教育環境の充実」に含まれると考えるため、説明文などに書き込むなどの工夫を検討していく。負担軽減策は財源を含め、実施内容を調査していく。

Q アレルギー7品目を除去した学校給食の提供を検討してはどうか。

A 学校給食センターは、卵と乳のアレルギー対応食を提供しているほか、そばと落花生は使用していない。安全面に配慮しながら、除去品目拡充を行うための検討を重ねていく。

Q 山形商業高の観光学科導入の検討状況はどうか。

A 有識者からの意見や校内委員会の議論を踏まえ、観光に関する系統立った学習を可能にする選択科目を配置し、学科の設置は計画していない。

農者の受け入れから就農までの支援を厚く行い、移住者・農業人口の増につなげていく。

ボランティアポイントを商品券に交換

(厚生1班)



鳴門市では、高齢者の地域貢献と介護予防を目的とした、いきいき・なるとボランティアポイント事業を行っています。受け入れ機関でのレクリエーションなどの指導や参加支援、食事作りの補助など、高齢者の行ったボランティア活動の実績に基づき、評価ポイントを付与し、転換給付金（うずとく商品券）として交換することができます。今後は活動者や受け入れ施設数を増やしていくため、ボランティア活動の内容を拡大するなど、活性化と効率化を図っていくとのことでした。

草津未来研究所～自ら考え、自ら行動し、また自ら責任を取る「地方政府としての草津」を目指して～

(総務1班)



草津市では、「草津未来研究所」を設置し、中長期的・広域的かつ部局横断的な視点で政策研究を行い、市民・社会ニーズの充足や課題の解決に向けた政策形成に寄与することを推進しています。メンバーに外部学識経験者などを含め、一定の独立性を保てるよう配慮し、課題解決や政策立案などの政策形成に結びつく調査研究活動（シンクタンク機能・データバンク機能・コンサルティング機能）と職員の政策形成能力の向上と草津市の未来を担う人材育成を目指す人材育成活動（トレーニング機能・プラットフォーム機能）の二つの活動に取り組んでいました。

委員会名	日程	調査地	調査項目
総務委員会 (1班)	7月4日(火) ～6日(木)	兵庫県川西市	地域分権の推進に関する条例について 地域づくり一括交付金について
		滋賀県草津市	草津未来研究所について
		兵庫県芦屋市	シティプロモーション戦略について
厚生委員会 (1班)	7月4日(火) ～6日(木)	香川県坂出市	坂出市立病院について
		徳島県鳴門市	いきいき・なるとボランティアポイント事業について
		香川県高松市	高松市こども未来館について
産業文教委員会 (1班)	7月4日(火) ～6日(木)	大阪府泉佐野市	外国人観光案内所を拠点とした訪日外国人旅行者の満足度向上およびインバウンド観光の推進の取り組みについて
		大阪府東大阪市	東大阪版DMOについて
		大阪府池田市	人型ロボット「Pepper」を活用したプログラミング教育の取り組みについて
環境建設委員会 (1班)	7月5日(水) ～7日(金)	富山県黒部市	PFI事業による下水道バイオマスエネルギー活用について
		岐阜県高山市	歴史的風致維持向上事業について
		富山県富山市	環境未来都市における国際連携事業について

本市議会では、先進的な施策を実施する他の自治体などへの視察を行っています。視察の成果は、委員会審査の中で、本市の抱える課題解決や市への提言に生かされます。今年度実施した委員会視察の内容をお知らせします。

委員会視察報告

世界のモデルとなる環境政策

(環境建設1班)



富山市では、平成20年に環境モデル都市、23年には環境未来都市に選定され、それぞれの計画に基づき環境政策を推進しています。特に環境未来都市計画では、低炭素・省エネルギー、医療産業などの強化、地域の介護・福祉、農業・林業・水産業、国内外の都市・地域との連携の五つの基本目標のもと、さまざまな事業を実施しています。

28年には、これまでの取り組みが評価され、G7富山環境大臣会合が開催されるなど国際的な評価も高く、また、海外都市との連携も活発であり、その取り組みの経過や課題などを視察しました。

インバウンド観光客に対するおもてなしと地域内観光消費額向上へ～外国人観光案内所～

(産業文教1班)



泉佐野市では、泉佐野駅山側商店街にある「泉佐野まち処」、りんくうタウン駅前にある「りんくうまち処」、関西国際空港第2ターミナル内にある「関空まち処」の3カ所の外国人観光案内所があり、特産品の展示販売、観光パンフレットの配布のほか、案内所によっては伝統体験スペースやウェルカムスペースの設置、手荷物預かりの実施などを行っています。三つの案内所を拠点として、訪日外国人旅行者へのホスピタリティの向上と情報発信を図り、訪日外国人旅行者の満足度向上およびインバウンド観光の推進に取り組んでいくとのことでした。

人と動物が共生できる社会の実現へ

(厚生2班)



熊本市動物愛護センターは、全国に先駆けて実践してきた「犬猫の殺処分ゼロ」の取り組みをさらに展開するため、明るく開放的な、親しみやすい愛護棟を建設しました。

これは、譲渡促進のためのトレーニング室、飼猫の屋内飼育普及のための屋内猫飼育モデルルームなどを配置したほか、しつけ教室や講習会を開催する研修室なども備えた動物愛護の情報発信拠点となっています。「動物を飼う人・飼わない人がともに心地よく暮らせる町、人と動物が共生できる社会」の実現を目指し、動物愛護の普及啓発などを積極的に行っていました。

市民生活と都市活動を支える公共交通

(総務2班)



山口市では、移動手段の確保や環境負荷の軽減、高齢化に伴う安全・安心の公共交通の政策に取り組んでいます。都市核と地域核を結ぶ基幹交通と、地域核と生活拠点を結ぶ準基幹交通、

地域をきめ細かくカバーするコミュニティ交通を相互に連携させ、待ち時間・移動距離・運賃などの負担が小さくなるように工夫し、車に頼りすぎない交通まちづくりを目指し、運行地区の勉強会を行いながら人や地域に活力をもたらすための政策を行っています。その取り組みの経過や課題などを視察しました。

委員会名	日程	調査地	調査項目
総務委員会 (2班)	7月10日(月) ~12日(水)	山口県山口市	公共交通について
		山口県下関市	公共施設マネジメントについて
		山口県宇部市	元気なまちづくり提案サポート事業について
厚生委員会 (2班)	7月10日(月) ~12日(水)	鹿児島県霧島市	介護保険ボランティア・ポイント制度について
		鹿児島県鹿児島市	子ども・子育て支援事業計画について
		熊本県熊本市	動物愛護センターについて
産業文教委員会 (2班)	7月24日(月) ~26日(水)	奈良県奈良市	奈良町南観光案内所について
		滋賀県湖南市	こにゃん市事業(観光振興面)の取り組みについて 市民産業交流促進施設「ここびあ」について
		京都府京田辺市	子ども・学校応援プロジェクトについて
環境建設委員会 (2班)	7月10日(月) ~12日(水)	愛知県春日井市	総合治水対策について
		愛知県豊田市	環境モデル都市アクションプランの取り組みについて
		大阪府吹田市	吹田市都市計画マスタープランについて

「ミライのフツー」を目指す環境先進都市とよた

(環境建設2班)



豊田市では、低炭素社会の実現に向けて先進的な取り組みにチャレンジする「環境モデル都市」として、交通・産業・森林・民生・都心の5分野を重点的分野に位置付け、全国初となる

市民の実生活での実証実験を行うなど、市民・地域・企業が力を合わせたさまざまな先進的取り組みを推進しています。そうした取り組みを再現した「とよたエコフルタウン」では、スマートハウスや小型電気自動車によるカーシェアリングHa:mo(ハーモ)など、各分野の最先端環境技術を視察しました。

学力・体力などの一層の向上を目指す「子ども・学校応援プロジェクト」

(産業文教2班)



京田辺市では、子どもの学力や体力などを一層向上させることを目指し、市内全小中学校で「子ども・学校応援プロジェクト教育実践モデル校指定事業」に取り組んでいます。英語教育・

学力アップ・体力アップ・安全(防災)教育チャレンジ・読書活動推進の五つのモデルテーマの中からテーマを選択し、各校で先進的な研究や実践を行い、特色ある学校づくりを進めていました。モデル校の成果を他校へ広げるための研究実践発表会などの活動内容や、事業実施から3年を迎えての成果と課題などを視察しました。

魅力あふれる山形市を目指して

議員と意見交換をしませんか？

9月定例会の審議過程や結果を市民の皆さまへ分かりやすくお伝えする「議会報告会」を開催します。

この報告会では議会を知ることができるほか、魅力あふれる山形市を作り上げていくために市議会議員と意見交換ができます。

今年度は8カ所の公民館・コミュニティセンターで開催されますので、ぜひお気軽にご参加ください。

《議会報告会》

期間：11月8日(水)・11月13日(月)

時間：19時～20時30分（18時30分より受付）

内容：9月定例会の議会活動報告です。



※やまがた市議会報みちしるべ（本号）をご持参ください。

月日	会場	出席議員
11月8日(水)	霞城公民館	◎武田 新世(総務) 〇仁藤 俊(環境建設) 高橋 昭弘 高橋 公夫 伊藤 香織 斉藤 栄治 菊地健太郎 斎藤 淳一
11月13日(月)	飯塚コミュニティセンター	
11月8日(水)	北部公民館	◎田中 英子(厚生) 〇川口 充律(総務) 松田 孝男 小野 仁 今野 誠一 石澤 秀夫 須貝 太郎 尾形 源二
11月13日(月)	出羽コミュニティセンター	
11月8日(水)	中央公民館	◎伊藤美代子(産業文教) 〇渋江 朋博(厚生) 阿曾 隆 丸子 善弘 長谷川幸司 折原 政信 鈴木善太郎 遠藤 吉久 副議長(13日欠席)
11月13日(月)	楯山コミュニティセンター	
11月8日(水)	西部公民館	◎武田 聡(環境建設) 〇浅野 弥史(産業文教) 佐藤 秀明 中野 信吾 佐藤亜希子 遠藤 和典 加藤 孝 斎藤 武弘
11月13日(月)	金井コミュニティセンター	

※どの会場でも参加できます。

◎…常任委員会委員長 〇…常任委員会副委員長

議会報副委員長 阿曾 隆

今月は議員が市内8地区に直接お伺いして、議会報告会を行います。どうぞ足をお運びください。

議員にとっては9月定例会終了と同時に解散総選挙となり、選挙の秋となりました。皆さまとお話する機会も増え、さまざまな市政の課題も見えてきたのではないでしょうか。

編集後記

スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。お気軽にご活用ください。



ウェブサイト

山形市議会 中継

で 検索